

令和 8 年度認知症施策事業（案）について

1 個別施策

- (1) 知識の普及と理解の促進
- ア 認知症ケアパスの普及および活用, 認知症ガイドの配布
 - イ 軽度認知障害 (MCI) スクリーニングテスト (あたまの健康チェック)
 - ウ 「2026 世界アルツハイマー月間 in はこだて」
- (2) 認知症の人と家族への支援体制の強化
- ア 認知症地域支援推進員の配置
 - イ 認知症サポーター養成事業
 - ウ 認知症カフェ認証事業
 - エ チームオレンジの整備
- (3) 医療・介護・地域連携による適時・適切な予防・支援の推進等
- ア 認知症初期集中支援チームの配置
 - イ 函館地区高齢者のための SOS ネットワークシステム
 - ウ 成年後見制度利用支援事業 (市長申立て, 申立て費用助成, 報酬助成)
 - エ 介護マーク配布事業

2 課題

認知症に関する相談窓口を知っている人の割合が低いこと

- (1) 第 10 次函館市高齢者保健福祉計画・第 9 期函館市介護保険事業計画における成果指標 (ニーズ調査による指標。対象: 要介護認定者以外の高齢者)

指標	現状値 [令和 4 年]	目標値 [令和 7 年]
認知症に関する相談窓口 を知っている人の割合	非認定者 25.0%	非認定者 25.0%超
	要支援者等 26.7%	要支援者等 26.7%超

- (2) 他市の現状 (令和 4 年度) (ニーズ調査による結果。対象: 要介護認定者以外の高齢者)
旭川市 29.9% 帯広市 25.0% 苫小牧市 25.7%

- (3)

地域包括支援センターの役割を 「知っている」と回答した割合	非認定者 31.6%
	要支援者 60.8%

 (令和 4 年ニーズ調査による結果)

- (4) 令和 7 年度の広報手段: 認知症ケアパス・認知症ガイドの配布・設置 (約 650 機関)
アルツハイマー月間イベント, 認知症カフェ, 講座内周知
市ホームページ・市政はこだてへの掲載

〈ご意見を伺いたいこと〉
認知症に関する相談窓口をより多くの
市民に知っていただくために, どのような
工夫が考えられるか。